

《会長挨拶》

令和6年度を迎え、YNU 経済学部教育後援会の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より、当会の活動に深いご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年、新型コロナウイルスの感染症分類が変更される中で、徐々に社会全体がかつての日常を取り戻しつつあります。当会も、この変化の中で多くの制約があるにもかかわらず、皆様の温かいご支援のおかげで、学生へのサポートを続けることができました。改めまして、会員の皆様には心から感謝申し上げます。

昨年度の活動内容では、大学協定校への派遣留学生やエディンバラサマースクール参加者、計10名に対する支援を実施しました。また、卒業祝賀会の代わりに卒業生へ記念品を贈呈し、リーフレットの発行やアンケートを通じて会員と大学間の情報交換を活性化することができました。

今年度もさらに充実した学生支援を目指し、以下の3つの項目について重点を置き、活動していきたいと考えています。

1.留学・国際交流支援の強化

本会会員の学生が本学協定校への派遣留学生に選ばれた場合、留学支援金を支給します。また、欧州・アジア英語討論会や GAEF、エディンバラサマースクールに参加する学生にも渡航資金の援助を行い、グローバルな視野を広げる機会を提供します。

2.卒業祝賀会開催援助金の支出

毎年卒業式後に開催される学生主催の卒業祝賀会に対して、教育後援会から援助金を支出します。祝賀会が開催されない場合は卒業記念品の配布等を検討し、学生たちの門出を祝う支援を行います。

3.横浜経済学会「本行賞」受賞者への表彰

本会会員の学生が横浜経済学会の「本行賞」を受賞した場合には、本会からも賞金を支給し、受賞者の栄誉を称えとともに、横浜経済学会との連携を強化します。

現代は急速な技術革新やグローバルな変動が進行する時代です。このような環境の中で、多様な経験を積み、柔軟な思考と実践力を養うことがますます重要になってきています。会員子女の横浜国立大学での学生生活が意義深いものとなり、未来の社会において大いに活躍できる人材へと成長していくことを願い、今年度も皆様と共に活動を推進してまいります。

引き続き、皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和6年7月吉日

YNU経済学部教育後援会
会長 木原 康晴